

## 業務報告書（概要）

令和元年 4 月 1 日の就任から取り組んできた業務とその 7 か月間の成果について、学長選考会議における業務執行状況の確認のために業務報告書を作成した。以下に、その概要を主な点に絞って取りまとめる。

- ・ 様々な課題や取組について、役員・副理事・学長補佐・部長の間での情報交換・意見交換を活発化するために役員等懇談会を設置。教職協同の態勢で運営。
- ・ 文部科学省「数理・データサイエンス教育の全国展開」事業の取組協力校（全国 20 大学）として、数理・データサイエンス教育の学内への展開及び地域への展開の検討を開始。
- ・ 研究支援体制及び産学官連携推進体制の強化を図るため、研究推進機構及び地域連携推進機構の改組（令和 2 年 4 月）に向けた準備を推進。
- ・ 首里城再興のための「琉球大学首里城再興学術ネットワーク（仮称）」設立の提案と、緊急学術シンポジウムの計画（12 月 22 日開催）。
- ・ 医学部附属病院を琉球大学病院に位置付けを決定。
- ・ アジア・太平洋地域の卓越した教育研究拠点となる大学を目指し、連携協定を締結した台湾の諸大学との連携を促進するため、「台湾協定校・琉球大学連絡会」を台北で開催。
- ・ 部局等への基盤配分経費、とくに教育関連経費の確保。
- ・ 教員の業績評価及び年俸制の導入に向けた検討及び全学的議論の推進。
- ・ 多様性の高いキャンパスに向けて、文部科学省補助事業「令和元年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」に採択。「女性教員海外調査派遣制度」などを実施。
- ・ 「大学の地域貢献度に関する全国調査 2019」（日経新聞社）で 8 位にランクインしたこと等を積極的に広報。
- ・ 附属学校統括及び専任校長の配置など、附属学校ガバナンス改革の推進。
- ・ SDGs に関する取組を大学として開始。
- ・ 就任挨拶訪問を通じて、県内の国家機関・自治体・諸団体・諸企業等（140 組織）へトップセールス。

検討を進めてきた諸課題への取組を来年度に向けて順次離陸させ、学生にとっては「学び甲斐のある大学」、教職員にとっては「働き甲斐のある大学」、地域にとっては「頼り甲斐のある大学」への歩みを全面的に展開する。